

一層の道徳教育推進が必要

津山新学生会 竹内 邦彦



大人も含めた社会全体の規範意識が低下していると考える。そのような中、規範意識を高め、豊かな心を育成する道徳教育は「しあわせ大津山」実現に大変重要であると考えます。

質問↓地元業者育成は行政の役割であり、また税収面・雇用面において地域振興に繋がるよう公共工事・物品の発注を考慮すべき。副市長の見解は。

答弁↓地元業者で施工可能なものにおいては、当然地元へ発注する。物品においても当然。しかし、コスト削減は行政にとって至上命題。また、適正な競争による発注も考慮し、平成二十年度から統一した制度の整理を行う。

質問↓津山市の子どもの現状を見ると、一層の道徳教育推進が必要と考えるが、市長の見解をお尋ねしたい。

津山が危ない・少子化対策、喫緊の課題

公明党津山市議員 仁木 豊司



答弁↓安心して子育てができる男女協働参画のまちづくりに向けての意識啓発や広報に取り組み。企業、団体等に対しては、関係法令の周知徹底を図り、働き方の見直しと子育て支援制度の導入の促進を働きかける。

質問↓合計特殊出生率が高いと評価するのは安易では。将来、市においても少子化が加速される懸念があると思うが。

答弁↓人口を維持するためには二・〇八以上が必要です。乳幼児の人口減少は続いており、決して安易には考えていない。国も新しい少子化対策を発表し、推進を始めた。市もこれに呼応し、強力に推進していきたい。

質問↓安心して子育てができる社会環境づくりについて市として地域にどのよう働きかけていくのか。

よいまちづくりは人づくり

政津クラブ 山本 睦夫



犯罪のない学校で、安心して学べる環境を醸成することが行政として今やらなければならぬ重要な課題であることとをぜひ、もう一度確認していただきたい。子どもは大事な財産である。市民のみんな育てていくことが大事。教育長の決意は。

質問↓心豊かな市民が増えるところには必ずよいまちができると思うが、基本的にまちづくりについて市長の考えは。本市の未来を担う青少年が、いじめや

答弁↓「まちづくりは人づくりにほかならない」と言っていたいただき感動した。教育や子どもや環境など一番行政に大切な点をご指摘下さり改めて感謝。心して頑張り抜きたい。子どもは宝、まさにその通り。この事をしっかり受け止め精いっぱい頑張る覚悟である。

四期十六年を振り返って(三市長との出会い)

津山再生クラブ 権田 直良



質問↓私は四期十六年、三人の市長に出会った。永礼市長は「津山らしさ」と

「バラ一輪の輝き」を口にされ、鶴山

塾を立ち上げ、全国的に注目された。中尾市長は「経営者感覚で市政を進める」と言われたが、クリーンセンター建設問題、アルネ建設での不振、関係者の不正流用、使途不明金まで出て市長の足元を揺さぶり続けた。議会も同罪であることを忘れてはならない。平成の大合併と備中槽の完成は大きな足跡である。桑山市長は「しあわせ大津山」を掲げ、真新しいキャンパスに向かっている。構図をどう組むか、配置は、バランスは。常に全体を見て描きあげてほしい。

答弁↓市政全体をキャンパスに例えられた提案で、名画を完成させたい。